

## 高齢者施設のあれこれ（8） 高齢者施設の上手な選び方

在宅での暮らしに不安のある高齢者にとって、その不安の解消のひとつの手段が高齢者向け施設に入居することです。

しかし、これまで見てきたような多種多様な高齢者向け施設が存在する中で、ご自身の状況にあった施設を選択することは至難の業です。

そんな施設選びを手助けしてくれるのが「老人ホーム紹介会社」であり、近年、その重要性や使い勝手は向上するばかりです。ただし、この紹介会社だけを頼っていいとも言えません。



老人ホーム紹介会社の多くでは、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅については幅広く網羅して紹介してもらえますが、特別養護老人ホーム、ケアハウス、老健といった公的施設については、紹介の対象外となっています。したがって、公的施設への入居は別建てで検討した上で、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅など民間施設を探すときに、上手に老人ホーム紹介会社を利用するというのが、賢い選択です。

また、「家族に頼らない老後」を選択する読者の皆さまは、高齢者施設を選択する時点でのご自身の判断能力について想像してみてください。

ひとり暮らしが心配だから、元気なうちに施設入居したいという方は、判断力が十分な時点で施設選択をすることになりますから、ご自身の希望に応じてご自身で納得して決定することができます。ただしこの場合、元気なうちから入居できる施設としては、ケアハウス、一部のサービス付高齢者向け住宅、住宅型有料老人ホーム、シニアマンションなど限定されることとなりますし、その後、どのような状況になったらその施設に居られなくなるのかということ、しっかりと確認しておかなければなりません。そして、転居が必要になったときには、ご自身で判断し決断するのが難しくなっていることがほとんどなので、誰が転居の決定を支援してくれるのか、入居のときからはっきりとさせておく必要があります。

一方で、体調や認知症によりひとり暮らしが難しくなった時点で、施設入居を検討しようと考えている方については、今のひとり暮らしの生活の状況や安否を継続して確認してくれる誰かが必要です。在宅の介護保険サービスを利用していても、ケアマネやヘルパーが施設入居の決定権限を持っている訳ではありません。ケアマネやヘルパーから本人の身体や精神の状況について報告を受け、ひとり暮らしが持続可能かどうか、施設入居を考えるべきかどうかなど、本人の重要な意思決定の支援をする人が必要です。

人生のどの時点においても百点満点の高齢者施設は存在しないと思います。お身体の状況、資金繰りの状況、そして何よりご自身のご希望や好みなどに応じて、柔軟に支援をしてくれる人や団体を見つけておくことが、高齢者向け施設選びの最重要ポイントではないでしょうか。